

## 教育課程特例校(英語科)編成の方針を受けて、児童の様子(学校アンケートより)

早田小学校では、年間の指導計画に則り、どの学年も外国人講師を招き、英語の学習を行っている。1～2 学年は、英語に慣れ親しむことをねらいとし、小学校第 3～6 学年においては、積極的にコミュニケーションを図る姿勢を育てられるよう工夫し取り組んできた。

1, 2年生では、英語の歌を歌ったり、歌に合わせて踊ったりした。3年生では、習った英語を生かして、英語でビンゴゲームを楽しんだ。4年生では、天気や自分の好きな遊びについて英語での会話をした。5年生では、道案内や、レストランでの注文を英語など、実用的な会話表現を学んだ。6年生では、教科書にそって、楽しんで英語を話すことができるような場面を設定してコミュニケーション活動を行った。

保護者へのアンケートから聞かれた言葉には、「外国人講師の先生と話せると、コロナで旅行にもなかなか行けない中、視野が広がって楽しそう。」「外国人講師の先生が面白いから、英語の時間が楽しみと言ってます。」などの声と共に、「英語が話せることに喜びを感じているようです」「英語に慣れるというのは大切なことなので、さらに 充実させてほしい」といった声が寄せられた。

保護者からは外国人講師からの指導について高い評価をいただいているので、今後は外国人講師の支援を受けながら、コミュニケーション能力の育成をめざして、担任を中心に英語が使いたくなるような場の設定をしつつ取り組みたいと考えている。コロナも落ち着き、会話活動をさらに充実させ、岐阜市が推奨する「岐阜市を訪れる旅行者に英語で岐阜市を紹介」「清流長良川の鵜飼を楽しむために、知っておくと 10 倍楽しめる豆知識」「メモリアル・ドームで熱戦を繰り広げる皆さんに、心も体も癒される早田地区のおいしい店の紹介」といった相手意識をもった活動を計画し実践していきたい。